区分	題名	セット枚数	サイズ	箱数	内容
1	大阪空襲・市民生活A	各24枚	A1	各2	各セットとも、米軍空撮写真や防空訓練などの写真パネルによって、戦時下の市民のくらしや空襲のすさまじさを伝えています。大阪市被災地図や大阪大空襲一覧表付き。
	大阪空襲・市民生活B				
	大阪空襲・市民生活C				
	大阪空襲・市民生活D				
	大阪空襲・市民生活E				
2	学童疎開	30枚	A2	2	疎開した子どもたちの様子を写したパネルと8枚の解説パネルで学童疎開の概要を伝えます。
3	原水爆の恐怖	30枚	A1	3	被爆直後の写真だけでなく、原子爆弾の構造や核開発の系譜などのパネルも含みます。
4	中東問題(難民問題)	30枚	A1	3	数次にわたる中東戦争の写真パネルの他、その背景についても学習できる解説パネル付き。
5	沖縄関係	20枚	A2	1	軍人・市民20万人以上の犠牲を出した悲惨な沖縄戦の写真パネル集。年表・統計パネル付き。
6	地域紛争下の子どもたち	33枚	A1　10枚 A2　23枚	2	冷戦後も地域紛争は激化の一途をたどっています。難民の様子を写したパネルと詳しい解説パネルで地域紛争の理解を深められます。
7	環境パネル	40枚	A3	1	世界中の環境破壊を伝える写真パネルなどで地球環境問題を提起します。(全パネル、カラー)
8	「愛華ちゃんの地球の秘密」	33枚	A1	3	12歳で亡くなった坪田愛華さんが生前に描いた分かりやすい地球環境問題の啓発マンガです。
9	ヒロシマ・ナガサキ	20枚	A2	1	広島・長崎の被爆直後の建物や人々の惨状を写したパネルで被爆の実相を伝えています。
10	大阪に残る戦争の傷あと	40枚	A2	2	大阪府下に今も残る空襲の痕跡、慰霊碑、軍事関連施設の遺構などのうち20カ所の写真パネル及び説明パネル。大阪大空襲全体像を伝えます。
11	海底に眠る艦船1	20枚	A1	2	先の戦争において沈没し、現在も、トラック諸島周辺など太平洋の海底に眠る艦船の写真パネル20枚。(水中写真家・坪本公一さん撮影)
12	難民	22枚	A1	2	国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)提供による難民の写真パネル。難民の実態とUNHCRの支援活動を紹介しています。
13	地雷	6枚 模型11個	A0　2枚 A1　4枚	3	世界には、まだ1億個以上の地雷が埋められており、多くの人々がその被害を受けています。人道目的の地雷除去支援の会(JAHDS)提供による写真パネルと様々な種類の地雷の模型。
14	海底に眠る艦船2	20枚	A2	1	先の戦争において沈没し、現在も、トラック諸島周辺など太平洋の海底に眠る艦船の写真パネル20枚。(水中写真家・坪本公一さん撮影)
15	ミニ原爆展	23枚	A2	1	日本非核宣言自治体協議会から各地で展示されることにより、被爆の実相を知ってもらうことを目的に寄贈された資料。
16	沖縄戦とひめゆり学徒隊	31枚	A2	1	60点もの写真が使用されており、沖縄戦とひめゆり学徒隊の概要が把握できます。(解説書付き)
17	広島の復興の歩み・ 平和へのメッセージ	19枚	A1	2	広島の復興の歩みと、オバマ大統領とローマ教皇の広島訪問に関するパネル。(協力:広島県)
18	どうぶつのいのちとへいわ	20枚	A1	2	天王寺動物園の歴史を背景に、過去の悲劇や現在の動物を取り巻く環境などを紹介したパネル。(協力:地方独立行政法人天王寺動物園)

大阪空襲 A　空 A-1 ～空 A-13

空 A-1

ピースおおさかポスター

空 A-2

空襲の被災状況（大阪市）

空 A-3

月のクレーターのような 1 トン爆弾のあと

空 A-4

大阪を襲う「超空の要塞」 B29 右主翼下に
大阪城が見える（1945 年 6 月 1 日）

空 A-5

B29 による大阪港のドックや倉庫の白昼爆撃
（1945 年 6 月 1 日）

空 A-6

日本橋 1 丁目交差点を中心とする一面の焼野原
（右側が道頓堀川）

空 A-7

焼夷弾は空中で破裂し、密集する木造家屋に
火の油をそそいだ

空 A-8

道頓堀通り

空 A-9

火の海となった阪急百貨店

空 A-10

猛爆撃を受ける大阪陸軍造兵廠
（1945 年 8 月 14 日）

大阪空襲 A

空 A-11

御堂筋から千日前を望む

空 A-12

無残な姿となった坂口楼（宗右衛門町）

空 A-13

大阪大空襲一覧（１９４５年）

市民生活 A　市 A-1 ～市 A-11

市 A-1

奉安殿（戦前の小・中学校には必ず奉安殿がつくられ天皇・皇后の写真と教育勅語が納められていた）

市 A-2

夜は灯火管制。家の中も、街も暗い中で息をひそめる。だから勉強は昼のうちにすませる習慣となってゆく。（昭和１７．８年頃）

市 A-3

小学校の防空演習

市 A-4

焼跡の生活

市 A-5

町内会の防空演習
（旧南区坂町 30 番地　1942 年 6 月）

市 A-6

大型施盤に取り組む勤労学徒

市 A-7

国民学校児童の豆歩哨

市 A-8

戦意高揚に一役買わされた天王寺動物園のチンパンジー

市 A-9

徴兵検査の風景

市 A-10

『爆弾が落ちると爆風で眼が飛び出します。鼓膜もやぶれます。だからしっかりと目と耳をおさえましょう。口をあけましょう　ハイッ』『ドドーン！』『爆弾が落ちましたヨ　姿勢を低くして～！』こんな訓練も原爆という怪物の前には無用となってしまった。（昭和１８．９年頃）

市民生活 A

市 A-11

少年兵募集ポスター

大阪空襲 B　空 B-1 ～空 B-13

空 B-1

ピースおおさかポスター

空 B-2

空襲の被災状況（大阪市）

空 B-3

月のクレーターのような 1 トン爆弾のあと

空 B-4

大阪を襲う「超空の要塞」B29 右主翼下に
大阪城が見える（1945 年 6 月 1 日）

空 B-5

B29 による大阪港のドックや倉庫の白昼爆撃
（1945 年 6 月 1 日）

空 B-6

日本橋 1 丁目交差点を中心とする一面の焼野原
（右側が道頓堀川）

空 B-7

焼夷弾は空中で破裂し、密集する木造家屋に
火の油をそそいだ

空 B-8

松竹座から見た戎橋筋

空 B-9

瓦礫と化した道頓堀付近から見た旧歌舞伎座

空 B-10

爆弾で破壊された大阪中央市場

大阪空襲 B

空 B-11

宗右衛門町筋から見た戎橋

空 B-12

四ツ橋にあった電気科学館から北北東を望む

空 B-13

大阪大空襲一覧（１９４５年）

市民生活 B　市 B-1 ～市 B-11

市 B-1

奉安殿（戦前の小・中学校には必ず奉安殿がつくられ天皇・皇后の写真と教育勅語が納められていた）

市 B-2

夜は灯火管制。家の中も、街も暗い中で息をひそめる。だから勉強は昼のうちにすませる習慣となってゆく。（昭和１７．８年頃）

市 B-3

小学生のバケツリレー

市 B-4

小学生も戦闘服姿に（帝塚山学院）

市 B-5

被災した大阪市民を歌で慰問する霧立のぼるさん一行（1945 年 7 月）

市 B-6

町内会の防空演習
（旧南区坂町 30 番地　1942 年 6 月）

市 B-7

防空演習にかり出された天王寺動物園のチンパンジー

市 B-8

動員されて軍服を縫う女学生たち

市 B-9

見送りのアーチの中を進む動員学徒

市 B-10

口こみで情報が伝わり食堂やウドン屋さんの前に長い列が出来る。３０分も１時間も行列して、やっと海草の黒い代用ウドン１杯にありついた。それも２日おき３日おきになり、やがてそれすらも姿を消した。（昭和１８．９年頃）

市民生活 B

市 B-12

少年兵募集ポスター

大阪空襲 C　空 C-1 ～空 C-13

空 C-1

ピースおおさかポスター

空 C-2

空襲の被災状況（大阪市）

空 C-3

月のクレーターのような 1 トン爆弾のあと

空 C-4

大阪を襲う「超空の要塞」B29 右主翼下に
大阪城が見える（1945 年 6 月 1 日）

空 C-5

B29 による大阪港のドックや倉庫の白昼爆撃
（1945 年 6 月 1 日）

空 C-6

日本橋 1 丁目交差点を中心とする一面の焼野原
（右側が道頓堀川）

空 C-7

焼夷弾は空中で破裂し、密集する木造家屋に
火の油をそそいだ

空 C-8

高射砲弾が命中し、火を吐きながら落ちていく B29

空 C-9

堺筋南久宝寺町に撃墜された B29 の操縦席

空 C-10

四ツ橋にあった電気科学館より北西を望む

大阪空襲 C

空 C-11

くすぶりつづける堺筋（1945 年 3 月 14 日朝）

空 C-12

廃墟と化した大阪城周辺

空 C-13

大阪大空襲一覧（１９４５年）

市民生活 C　市 C-1 ～市 C-11

市 C-1

奉安殿（戦前の小・中学校には必ず奉安殿がつくられ天皇・皇后の写真と教育勅語が納められていた）

市 C-2

夜は灯火管制。家の中も、街も暗い中で息をひそめる。だから勉強は昼のうちにすませる習慣となってゆく。（昭和１７．８年頃）

市 C-3

防空演習

市 C-4

空襲下の防空壕での炊き出し
（大阪市立扇町高女の校庭で）

市 C-5

壕舎の中で事務を執る

市 C-6

町内会の防空演習（旧南区坂町 30 番地
1942 年 6 月）

市 C-7

象も防空演習に参加（天王寺動物園）

市 C-8

施盤に取り組む勤労学徒

市 C-9

父母に見送られて学徒動員へ

市 C-10

『われら大日本青少年団　いざ共に聖恩の旗仰ぎつつ』町内会ごとに分団がつくられ、『歩調とれーッ』と登校。学校にもミニ軍隊の兆し。
（昭和１８．９年頃）

市民生活 C

市 C-11

少年兵募集ポスター

大阪空襲 D　空 D-1 ～空 D-13

空 D-1

ピースおおさかポスター

空 D-2

空襲の被災状況（大阪市）

空 D-3

月のクレーターのような 1 トン爆弾のあと

空 D-4

大阪を襲う「超空の要塞」B29 右主翼下に
大阪城が見える（1945 年 6 月 1 日）

空 D-5

B29 による大阪港のドックや倉庫の白昼爆撃
（1945 年 6 月 1 日）

空 D-6

日本橋 1 丁目交差点を中心とする一面の焼野原
（右側が道頓堀川）

空 D-7

焼夷弾は空中で破裂し、密集する木造家屋に
火の油をそそいだ

空 D-8

戎橋北詰

空 D-9

燃える堺筋の三和銀行

空 D-10

道頓堀通りから心斎橋筋方向を望む

大阪空襲 D

空 D-11

清水谷高等女学校（北から見る）

空 D-12

千年町筋周辺の焼跡

空 D-13

大阪大空襲一覧（１９４５年）

市民生活 D　市 D-1 ～市 D-11

市 D-1

奉安殿（戦前の小・中学校には必ず奉安殿がつくられ天皇・皇后の写真と教育勅語が納められていた）

市 D-2

夜は灯火管制。家の中も、街も暗い中で息をひそめる。だから勉強は昼のうちにすませる習慣となってゆく。（昭和１７．８年頃）

市 D-3

造兵廠で増産に励む勤労学徒

市 D-4

消火訓練

市 D-5

伝書鳩の訓練

市 D-6

焼跡整理に従事する警防団員

市 D-7

チンパンジーの水兵（天王寺動物園）

市 D-8

町内会の防空演習（旧南区坂町 30 番地 1942 年 6 月）

市 D-9

旧制大阪高等学校の学徒出陣式（1943 年 11 月住吉神社で）

市 D-10

昭和１８．９年頃の冬は寒かった。大阪市内でも１０～１５センチの積雪があった。防火用水は真冬厚い氷がはりつめ、毎朝学校に行く前に町内の水槽をみてまわるのが少年団の日課だった。夏はボウフラがわくのでフナや金魚を飼った。（昭和１７．８年頃）

市民生活 D

市 D-11

少年兵募集ポスター

大阪空襲 E　空 E-1 ～空 E-13

空 E-1

ピースおおさかポスター

空 E-2

空襲の被災状況（堺市）

空 E-3

月のクレーターのような 1 トン爆弾のあと

空 E-4

大阪を襲う「超空の要塞」B29 右主翼下に
大阪城が見える（1945 年 6 月 1 日）

空 E-5

B29 による大阪港のドックや倉庫の白昼爆撃
（1945 年 6 月 1 日）

空 E-6

日本橋 1 丁目交差点を中心とする一面の焼野原
（右側が道頓堀川）

空 E-7

焼夷弾は空中で破裂し、密集する木造家屋に
火の油をそそいだ

空 E-8

長堀の旧高島屋

空 E-9

大阪城と大阪府庁

空 E-10

炎上する四天王寺の五重塔

大阪空襲 E

空 E-11

爆風で破壊された民家

空 E-12

宗右衛門町周辺

空 E-13

大阪大空襲一覧（１９４５年）

市民生活 E　市 E-1 ～市 E-11

市 E-1

奉安殿（戦前の小・中学校には必ず奉安殿がつくられ天皇・皇后の写真と教育勅語が納められていた）

市 E-2

夜は灯火管制。家の中も、街も暗い中で息をひそめる。だから勉強は昼のうちにすませる習慣となってゆく。（昭和１７．８年頃）

市 E-3

神宮外苑競技場における出陣学徒の雨中の行進

市 E-4

ガス溶接に取り組む動員女学生

市 E-5

焼跡整理に動員された中学生たち

市 E-6

担架で負傷者を搬送する訓練

市 E-7

戦意高揚に一役買わされた天王寺動物園のチンパンジー

市 E-8

小学生のバケツリレー

市 E-9

焼残ったビルで執務する会社員

市 E-10

前線に対する銃後という言葉が盛んに使われた。心斎橋筋の大丸、そごう百貨店の前やターミナルには千人針の列が並んだ。四銭（死線）を越えるということで五銭玉がぬいつけられた。学校では慰問文慰問袋づくり、年に数回行なわれた。（昭和１５．６年頃）

市民生活 E

市 E-11

少年兵募集ポスター

学童疎開　学 -1 ～学 -30

学 -1

昭和 19 年 9 月 23 日
西船場国民学校疎開学童（3 年、6 年）
島根県久木国民学校に到着

学 -2

昭和 19 年 9 月
島根県加茂町の寮舎へ到着
江戸堀国民学校

学 -3

阿倍野国民学校
疎開先　和歌山県麻生津村で

学 -4

曽根崎国民学校の疎開学童
疎開先　滋賀県湯田村

学 -5

千本国民学校
疎開先　和歌山県亀川村法輪寺

学 -6

清堀国民学校の 6 年生　疎開先　奈良県上市町
浄宗寺寮「学童への面会厳禁」看板が目に入る

学 -7

寮舎での学習風景 南百済国民学校 大阪府古市村

学 -8

疎開先で（奈良県上市町）
鍛錬中の子供達 清堀国民学校

学 -9

食料の増産（和歌山県麻生津村で）
阿倍野国民学校

学 -10

野菜洗いの手伝い
南百済国民学校
疎開先　大阪府古市村

学童疎開

学 -11

薪運び作業
清堀国民学校疎開学童

学 -12

阿倍野国民学校　仕事帰り
疎開先　和歌山県麻生津村で

学 -13

吉野川での鮎つり
清堀国民学校疎開学童

学 -14

食事風景　阿倍野国民学校
疎開先　和歌山県麻生津村

学 -15

食事風景　清堀国民学校
疎開先　奈良県上市町

学 -16

大阪府古市村で
南百済国民学校

学 -17

餅つき　中浜国民学校学童
疎開先　福井県今富村発心寺寮

学 -18

餅つき 中浜国民学校学童
疎開先　福井県今富村発心寺寮

学 -19

南百済国民学校寮舎での学芸会
疎開先　大阪府古市村

学 -20

就寝風景　南百済国民学校

学童疎開

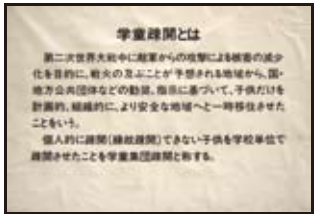
学 -21

榛名湖畔に疎開した東京都の国民学校
学童の飛行機大会

学 -22

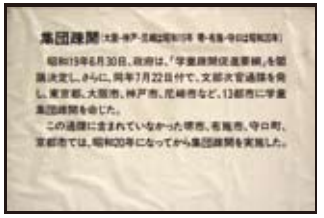
戦争終わっていよいよ大阪へ　難波国民学校
疎開先　滋賀県老上村で

学 -23



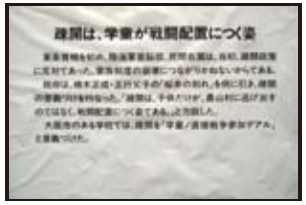
学童疎開とは

学 -24



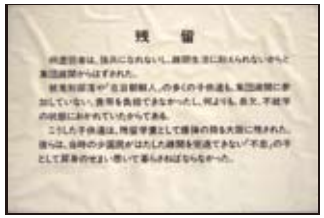
集団疎開

学 -25



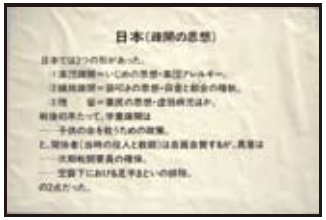
疎開は、学童が戦闘配置につく姿

学 -26



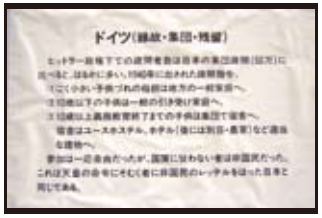
残留

学 -27



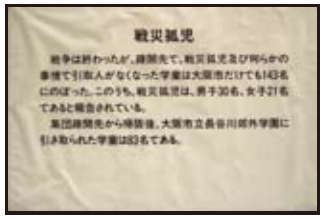
日本 (疎開の思想）

学 -28



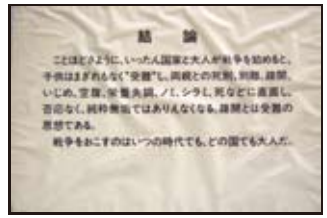
ドイツ（縁故・集団・残留）

学 -29



戦災孤児

学 -30



結論

原水爆の恐怖　原 -1 ～原 -30

原 -1

新聞記事　原爆実験で日本漁夫負傷
（第五福竜丸）

原 -2

西坂町の丘より見た中町天主堂一帯の焼失地域
中央の尖塔は中町天主堂、右手後方に新興善
国民学校、左手後方に市役所が見える（長崎）

原 -3

欄干の影が熱光線で残った
（爆心地から南南西８８０m
（広島）

原 -4

爆風で倒れた樹齢３００年の大楠木
（広島）

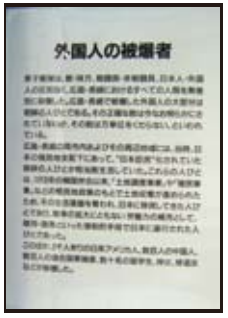
原 -5

片足をふきとばされた山王神社の鳥居
（爆心地より約 1,000m　長崎）

原 -6

罹災証明書を書く警官
（爆心地より約 2.7ｋm）
（広島）

原 -7



文字パネル　外国人の被爆者

原 -8

長崎市の原爆被害状況

原 -9

長崎要塞司令部の羽目板に残された閃光の影
（梯子と人の影が見える）

原 -10

被爆後の広島市

原水爆の恐怖

原 -11

核実験前壕に待避する兵士たち
（1955 年 3 月 16 日）

原 -12

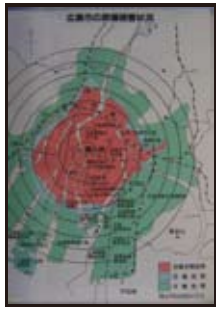
原 -13

原爆の構造

原 -14

熱線で着物の柄が皮膚に焼きついた
（広島）

原 -15



広島市の原爆被害状況

原 -16

手当を待つ被爆者
（爆心より約 2.3ｋｍ　御幸橋西詰め　広島）

原 -17

一瞬にして廃墟と化した産業奨励館　相生橋周辺
（広島）

原 -18

被爆した直後に止まった時計
（長崎）

原 -19

人間の影が焼きついた石段
（爆心地から東 250m　住友銀行　広島）

原 -20

長崎の鐘　この鐘だけが無事に残った
今も平和の鐘を鳴らし続けている

原水爆の恐怖

原 -21

年表

原 -22

原 -23

文字パネル　ヒロシマ・ナガサキ

原 -24

宇品の暁部隊（陸軍船舶部隊）
の兵舎に収容された負傷兵たち

原 -25

文字パネル　原子爆弾開発の系譜

原 -26

原 -27

浦上天主堂にあった聖像
（長崎）

原 -28

浦上天主堂全景
（長崎）

原 -29

被爆後の広島市街

原 -30

教えられたとおり、目を覆っていたが、誰もが
（放射線で）自分の骨がみえたのをおぼえている

中東問題　中 -1 ～中 -30

中 -1

1982.7　イスラエルに破壊された
ラシディエ難民収容所（レバノン・テュロス市）

中 -2

1991.3.24　イラク占領軍に破壊された
クウェートの由緒ある古い博物館

中 -3

1975　パレスチナ難民収容所で健康診断を
うける子供たち

中 -4

1967　成長期の子供たちに暖かい給食
ガザ地区（人口 4,5000 人）のラファ難民
収容所にある給食センター

中 -5

1971　ヨルダン東部バカア難民収容所内にある
ノルウェー診療所 腸炎による脱水症にかかった
メイスーンちゃん

中 -6

1982.6　イスラエルに破壊された
アイン・エル・ヒルウィ難民収容所のがれきの山
（レバノン・シドン市）

中 -7

1961　ヨルダン・ベツレヘム近郊のディシュ
難民収容所のパレスチナ難民の子供たち

中 -8

1991.3.21　イラク占領軍に破壊された漁船

中 -9

1991　湾岸戦争でイラク軍に爆撃され
燃えるクウェートの油井（1）

中 -10

1991　国連査察団は、イラクのマスアナ国営会社を
調査。同社が製造したマスタードガスが装填可能な
Ｒ－４００爆弾の胴体を２つに切断し、尾部のヒレを
ブルドーザーで押し潰して廃棄処分した

中東問題

中 -11

1986.11　胃腸障害にかかり、やせ衰えた
パレスチナ難民の子供（南レバノンのティレ地区）

中 -12

1991.3　学校図書館の略奪の跡

中 -13

1991　湾岸戦争でイラク軍に爆撃され燃える
クウェートの油井（2）

中 -14

1991.3.23　イラク占領軍に破壊された
ミナアルアーマディ石油精製所の南埠頭の破壊

中 -15

1981　国連パレスチナ難民救済事業機関が開校
したシェムヒの学校へは、レバノン南部から強制
移住のパレスチナ難民の子供たちが、チャーター
したバスで通学している

中 -16

1991.3　イラク占領軍に破壊されたクウェート
市内の自動車販売店のショールーム

中 -17

1966　古代都市ジェリコ近くのヨルダン峡谷にある
アインスルタン難民収容所の粘土製の住居群
（ヨルダン・アインスルタン）

中 -18

湾岸戦争でイラク軍に破壊された教室（クウェート）

中 -19

1971　ヨルダン東部バカア非常難民収容所（収容
人員４万人）の新しい収容施設。テント暮らしから
プレハブにかわり、砂あらしや酷暑などの自然の
猛威にさらされることは少なくなった

中 -20

1991.1.17　朝日新聞（号外）

中東問題

中 -21

地図パネル　中東全図

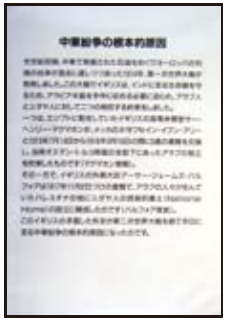
中 -22

地図パネル　第一次世界大戦後の西アジア

中 -23

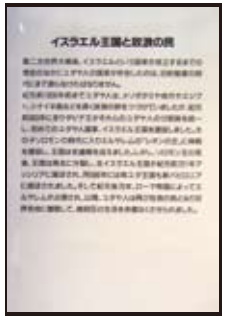
地図パネル　19 世紀の西アジア

中 -24



文字パネル　中東紛争の根本的原因

中 -25

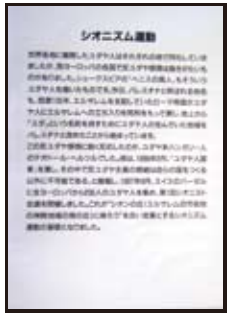


文字パネル　イスラエル王国と放浪の民

中 -26

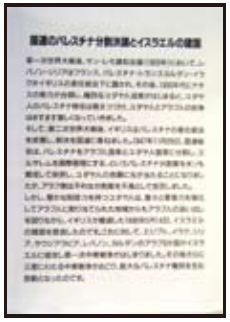
地図パネル
中東戦争とイスラエルの領土の拡大（1967 年）

中 -27



文字パネル　シオニズム運動

中 -28



文字パネル
国連のパレスチナ分割決議とイスラエルの建国

中 -29

文字パネル　第 3 次中東戦争（6 日戦争）

中 -30

文字パネル　中東戦争史

沖縄関係　沖 -1 ～沖 -20

沖 -1

文字パネル
沖縄戦に於ける日本とアメリカの損害・軍事力

沖 -2

文字パネル
沖縄戦に関する主な出来事　1945 年

沖 -3

上陸したあと、用心深く日本軍の様子を
うかがうアメリカ兵たち（1945 年 4 月・読谷）

沖 -4

前線へ向かうアメリカ軍の水陸両用戦車を横目
で見ながら、幼い弟を背負って歩く少女
（1945 年 6 月）

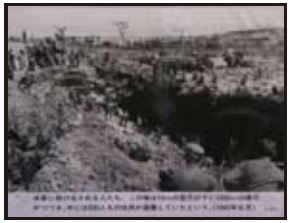
沖 -5

誰に持たされたのだろうか。木の枝に白い布を
結びつけて出て来た白旗の子（1945 年 5 月）

沖 -6

座間味島の捕虜収容所に運ばれる朝鮮人捕虜たち
（阿嘉島 1945 年 5 月 28 日。）阿嘉島・慶留間島に
いた海上挺進第二戦隊には 350 名の朝鮮人軍夫が
いたという。

沖 -7



米軍に救け出される人たち。この壕は 10mの竪穴
の下に 1000mの横穴がつづき中には 500 人もの
住民が避難していたという。（1945 年 6 月）

沖 -8

海岸には橋頭堡が築かれ、本格的戦闘に備えて米軍の
軍事物資の陸揚げが始まった。比謝川河口付近を埋め
る米輸送船団（1945 年 4 月 4 日）

沖 -9

収容所では子どもたちを集めて青空教室が開か
れた。生き残った先生と子どもたちの学習風景。
（1945 年 5 月）

沖 -10

上陸予定地に向けて猛烈な艦砲射撃を行なう米戦艦。
米海軍が陸上に向けて発射した 6 インチから 16 イン
チ砲の砲弾の数は 101,300 余発。

沖縄関係

沖 -11

一面ガレキの街と化した首都・那覇。
中央の建物は当時の天妃小学校。

沖 -12

砲撃による死か、集団自決か。
いずれにしても沖縄戦では、多くの住民
たちが死に追いやられた。（1945 年 4 月）

沖 -13

にわかづくりの捕虜収容所に集められた
日本軍の捕虜。（1945 年 6 月　小禄）

沖 -14

摩文仁の守備軍司令部壕内で自決した牛島中将
と長参謀長。日本軍の組織的戦闘が終わった
（1945 年 6 月 23 日）

沖 -15

ハワイ行きの捕虜移送船の待つ桟橋
へ向かう守備軍の捕虜たち。

沖 -16

占領した飛行場を守るための、米軍のすさまじい
対空砲火。（1945 年 4 月 16 日　読谷飛行場）

沖 -17

洞窟から救け出される子どもを抱いたお母さん。
この子の泣き声で、アメリカ兵に発見された。
（1945 年 4 月）

沖 -18

通りすぎていくアメリカ軍の戦車のあとに
残された日本兵の死体。（1945 年 4 月）

沖 -19

義烈空挺隊の 97 式重爆撃機一機が読谷飛行場
に胴体着陸に成功、その隊員によって破壊された
米軍機の残骸。（1945 年 5 月）

沖 -20

亀甲墓の前で、アメリカ兵にねらい撃ちに
されてしまった日本兵。（1945 年 5 月）

地球紛争下の子どもたち　地 -1 ～地 -33

地 -1

基地の前で、ビスケットをもらうために国連軍兵士を待つ少年たち (ボスニア・ヘルツェゴビナ）

地 -2

産まれてすぐ捨てられた新生児を診察する医師。この子の母親はレイプの被害者だ。（クロアチア、ザグレブ）

地 -3

タンザニアのルワンダ難民。自分の家と故郷を捨てなくてはならないことは、老人や障害者たちにとっては特に辛いことだ（タンザニア）

地 -4

1994 年 6 月中旬現在、タンザニアに約 41 万人のルワンダ難民がいる。そしてこの難民の数は毎日 500 ～ 1500 人増え続けている。(タンザニア）

地 -5

タイとの国境のメコン川を渡り、国境標識まで帰ってきたタイからの帰還者たち（ラオス、ビエンチャン）

地 -6

ブータン難民の子どもたちは、校舎がないため授業もテストも野外で行う（ネパール、ジャパ）

地 -7

カンボジア難民の子どもたちの授業風景（タイ、カオイダン）

地 -8

1994 年 4 月 6 日、戦争が始まってから 24 時間後に約 25 万人のルワンダ人がタンザニアに逃れた（タンザニア、カゲラ地方）

地 -9

トラック輸送隊ごっこをして遊ぶブータン難民の子どもたち（ネパール、ジャパ）

地 -10

ソマリアから帰還したエチオピア難民の子どもたち (エチオピア、ジジカ）

地域紛争下の子どもたち

地 -11

キスマヨからモンバサ港に着いた船には、足の踏み場もないほどソマリア難民が乗っていた（ケニア）

地 -12

約 70 万人のブルンジ難民は、生き延びるために国外に逃れた（ルワンダ、ブタレ）

地 -13

多数のソマリア難民を収容するために、大規模なキャンプが数カ所に設けられた (ケニア、リボイ）

地 -14

地下シェルターに入るナゴルノ・カラバフ自治州の国内避難民（アゼルバイジャン、アグジャベジ）

地 -15

ミャンマー難民のために十数ヵ所にキャンプが設けられたが、まだ適当な避難場所を持てない難民が多い（バングラデシュ、コックスバザール）

地 -16

ブルンジ難民の親子（ルワンダ、ブタレ）

地 -17

家族の食事を用意するための薪を拾いに行く難民女性。その距離はだんだん遠くなっていく（ケニア、リボイ）

地 -18

ミャンマー難民キャンプでは、水道と下水の整備が緊急課題となっている (バングラデシュ、コックスバザール）

地 -19

難民センターでは、水道や下水施設が悪く衛生状態が非常に悪化している（アゼルバイジャン、バクー）

地 -20

破壊された家に戻ってきたクロアチアの女性（スロベニア、リピク）

地域紛争下の子どもたち

地 -21

兵士の横に立つ子どもは、兵士のライフルに手をかけている（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

地 -22

居住地区への、無差別爆撃や地雷によって多数の死傷者がでた（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

地 -23

廃墟となったブコバルの街（クロアチア）

地 -24

文字パネル 子どもの権利条約

地 -25

文字パネル
悲惨な戦いをつづける旧ユーゴの紛争

地 -26

文字パネル
ラテン・アメリカの主な地域紛争

地 -27

文字パネル
部族対立の悲劇・ルワンダの紛争

地 -28

文字パネル 難民とは

地 -29

文字パネル 国連の平和維持活動（PKO）

地 -30

文字パネル 欧州・旧ソ連の主な地域紛争

地球紛争下の子どもたち

地 -31

文字パネル アフリカの主な地域紛争

地 -32

文字パネル 中東の主な地域紛争

地 -33

文字パネル　アジア・太平洋の主な地域紛争

環境パネル　環 -1 ～環 -40

環 -1

農耕のための焼畑（タイ）

環 -2

分別回収された空き缶の山

環 -3

自動車排気ガスによるスモッグ (中国）

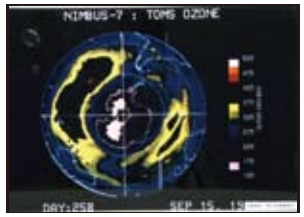
環 -4

植林 3（ミャンマー）

環 -5

酸性雨で破壊された国境地帯の森林 (2)
(ポーランド・チェコスロバキア）

環 -6



南極のオゾンホール 2

環 -7

湾岸戦争による大気汚染 2（クウェート）

環 -8

植林 2（インド）

環 -9

大型機械による熱帯林の伐採（マレーシア）

環 -10

森林保護区内での伐採（マレーシア）

環境パネル

環 -11

タンカー事故で流出した原油 2(アラスカ）

環 -12

焼畑によって土地がやせてしまった森林 (タイ）

環 -13

森林伐採により少しの雨でも洪水が起きる (インド）

環 -14

燃料のためのたき木採り（ネパール）

環 -15

砂漠化が進む 2（中国）

環 -16

環 -17

植林 1（カフジ）

環 -18

エコマーク商品

環 -19

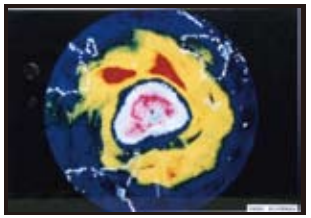
分別回収された紙の山

環 -20

工場から排出される煤煙（スエーデン）

環境パネル

環 -21



南極のオゾンホール 1

環 -22

紺碧にかがやく南の島の珊瑚礁（フィジー）

環 -23

モスクワの発電所の煤煙 (ロシア）

環 -24

酸性雨で破壊された森林 (チェコスロバキア）

環 -25

美しいせせらぎと花畑のチロル地方（オーストリア）

環 -26

市街地の慢性的な交通渋滞による排気ガス（タイ）

環 -27

酸性雨で破壊された国境地帯の森林 1
(ポーランド・チェコスロバキア）

環 -28

湾岸戦争で流出した油で汚れた海岸（クウェート）

環 -29

焼き畑農業 (タイ）

環 -30

タンカー事故で流出した原油 1(アラスカ）

環境パネル

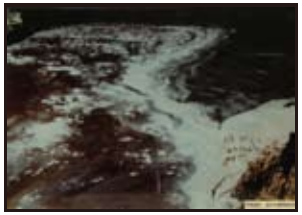
環 -31

戦争によって破壊された遺跡 1

環 -32

戦争によって破壊された遺跡 2

環 -33



工場や家庭排水で汚染された川 2(日本）

環 -34

海の汚れで発生したプランクトンの死骸等の
分解が原因で起きた青潮 (日本）

環 -35

工場や家庭排水で汚染された川 1(日本）

環 -36

砂漠化が進む 1 （インド）

環 -37

湾岸戦争で流出した油にまみれた海鳥
（クウェート）

環 -38

湾岸戦争による大気汚染 1（クウェート）

環 -39

カオヤイ国立公園に残された熱帯雨林の森（タイ）

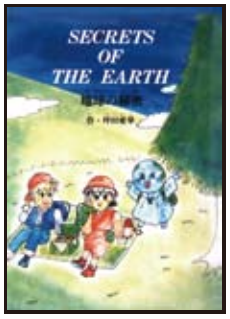
環 -40

酸性雨で腐食した彫刻（シカゴ）

愛華ちゃんの地球の秘密　1～33

1

2



3

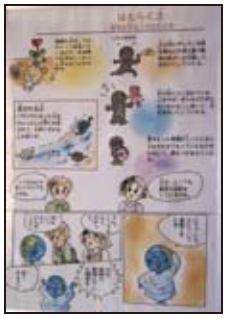
4

5

6

7

8



9

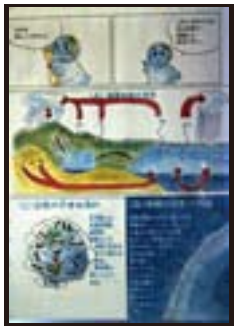
10

愛華ちゃんの地球の秘密

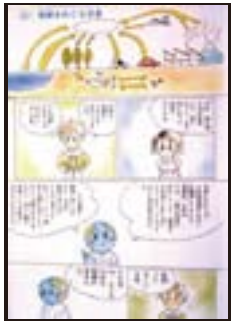
11

12

13



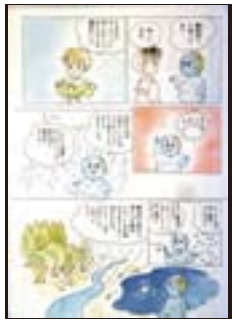
14



15

16

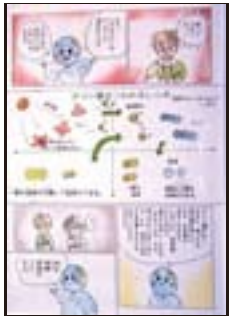
17



18

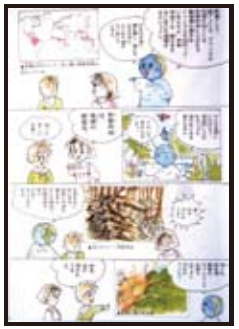
19

20



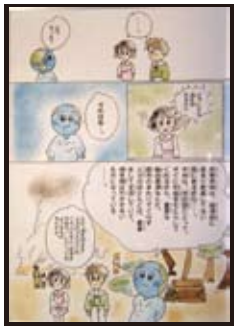
愛華ちゃんの地球の秘密

21

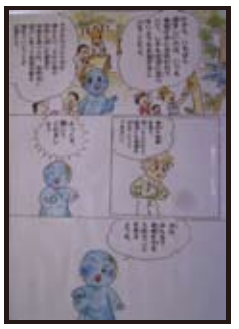


22

23

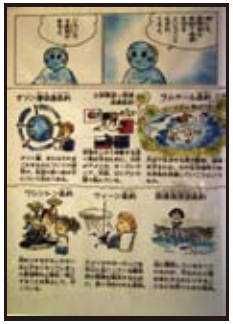


24

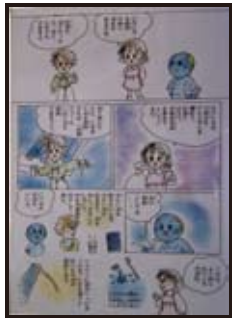


25

26



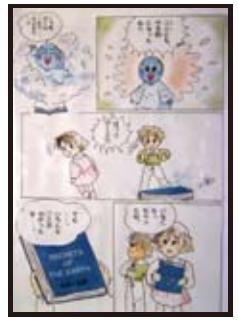
27



28

29

30

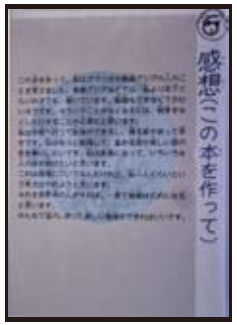


愛華ちゃんの地球の秘密

31

32

33



ヒロシマ・ナガサキ　1～20

1

（広島）　（長崎）

巨大な原子雲 立ち昇るきのこ雲

2

焼けのはらとなった広島

3

生き地獄の中をのがれてきた人々
（広島）

4

爆風で倒れた樹齢 300 年の大くすの木
（広島）

5

爆圧でひざを折るように倒れかかった建物
（広島）

6

爆心地付近の惨状
（長崎）

7

一瞬のうちに壊滅した浦上天主堂
（長崎）

8

爆風で土台から根こそぎ倒れた工場
（長崎）

9

爆風で破壊された城山国民学校
（長崎）

10

（左）熱線で着物の柄が膚に焼きついた
（右）強い熱線で背中を焼かれた婦人
（広島）

ヒロシマ・ナガサキ

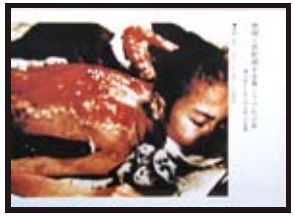
11

爆心地から 1,6km で被爆した人のケロイド
（広島）

12

（右）欄干の影が熱光線で残った
（左）人間の影が焼きついた石段
（広島）

13



熱線と放射線を全身にうけた少年
（長崎）

14

炭のように黒こげになった少年
（長崎）

15

ふきとばされた電車と乗客
（長崎）

16

（上）皮膚の出血斑点などがみられる
（下）放射線による原爆白内障
（広島）

17

急性放射能障害により脱毛した少女
（広島）

18

ヒロシマは終わっていない
（広島）

19

死者と生者と―ナガサキは終わっていない
（長崎）

20

（広島）　（長崎）

核兵器廃絶　！世界に平和を！

大阪に残る戦争の傷跡　写真パネル 1 ～ 20

1

大阪市戦災死者慰霊塔

2

満州開拓物故者之碑

3

大阪陸軍幼年学校の跡

4

掩体壕

5

高射砲陣地跡

6

加賀谷家の防空壕

7

大阪城石垣の弾痕

8

JR 美章園駅遭難供養の碑

9

芝川ビル壁面の弾痕

10

中原水道商会外壁の弾痕

大阪に残る戦争の傷跡

11

千人つか・平和地蔵尊

12

崇禅寺の戦災犠牲者慰霊塔

13

北向地蔵（柏里子安延命地蔵）

14

福島区の被爆者慰霊　平和の碑

15

模擬原子爆弾投下跡地の碑

16

京橋駅爆撃被災者慰霊碑と納経塔

17

旧北野中学校本館の弾痕と殉難の碑

18

動物の慰霊碑

19

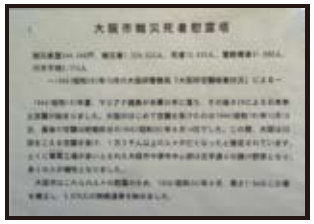
陸軍高槻地下倉庫（タチソ）跡

20

堺の平和記念塔

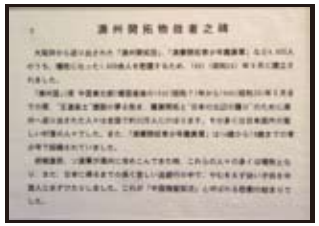
大阪に残る戦争の傷跡　文字パネル 1 ～ 20

1



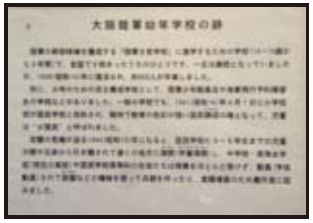
文字パネル　大阪市戦災死者慰霊塔

2



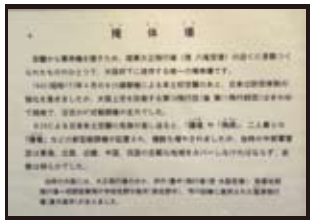
文字パネル　満州開拓物故者之碑

3



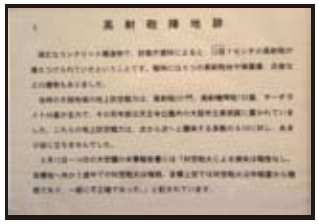
文字パネル　大阪陸軍幼年学校の跡

4



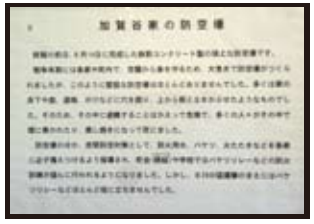
文字パネル　掩体壕

5



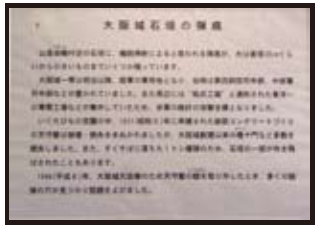
文字パネル　高射砲陣地跡

6



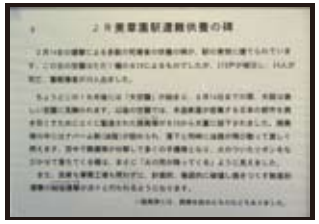
文字パネル　加賀谷家の防空壕

7



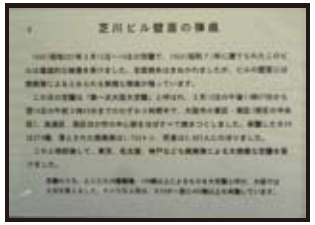
文字パネル　大阪城石垣の弾痕

8



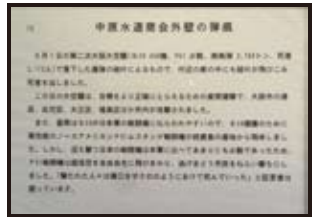
文字パネル　JR 美章園駅遭難供養の碑

9



文字パネル　芝川ビル壁面の弾痕

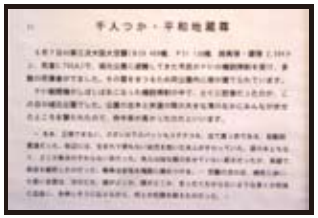
10



文字パネル　中原水道商会外壁の弾痕

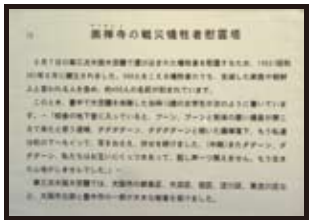
大阪に残る戦争の傷跡

11



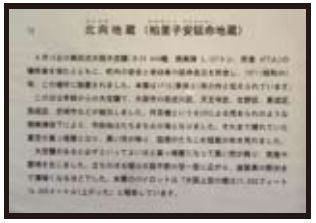
文字パネル　千人つか・平和地蔵尊

12



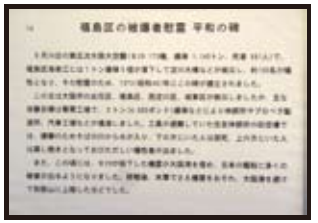
文字パネル　崇禅寺の戦災犠牲者慰霊塔

13



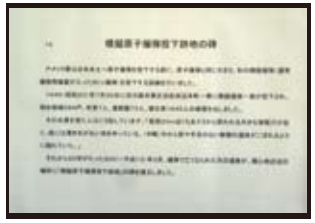
文字パネル　北向地蔵（柏里子安延命地蔵）

14



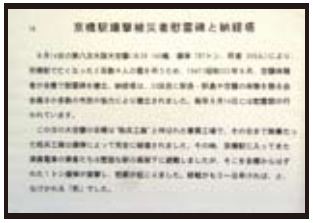
文字パネル　福島区の被爆者慰霊　平和の碑

15



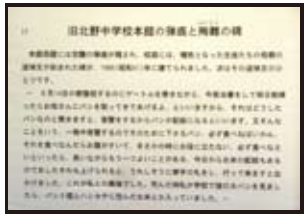
文字パネル　模擬原子爆弾投下跡地の碑

16



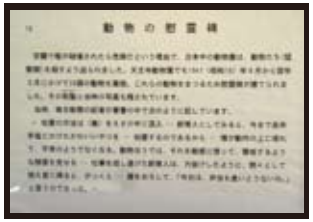
文字パネル　京橋駅爆撃被災者慰霊碑と納経塔

17



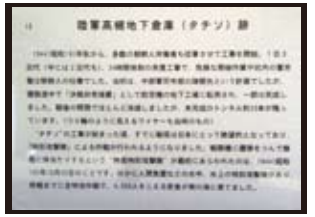
文字パネル　旧北野中学校本館の弾痕と殉難の碑

18



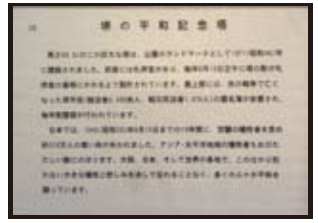
文字パネル　動物の慰霊碑

19



文字パネル　陸軍高槻地下倉庫（タチソ）跡

20



文字パネル　堺の平和記念塔

海底に眠る艦船　1　1～20

1

愛国丸 AIKOKU-MARU

特設巡洋艦（大阪商船）　10,437 トン トラック諸島・デュブロン島（夏島）の東方、水深 70 ㍍の海底

2

愛国丸 AIKOKU-MARU

特設巡洋艦（大阪商船）　10,437 トン トラック諸島・デュブロン島（夏島）の東方、水深 70 ㍍の海底

3

愛国丸 AIKOKU-MARU

特設巡洋艦（大阪商船）　10,437 トン トラック諸島・デュブロン島（夏島）の東方、水深 70 ㍍の海底

4

あさしほ丸 ASASIHO-MARU

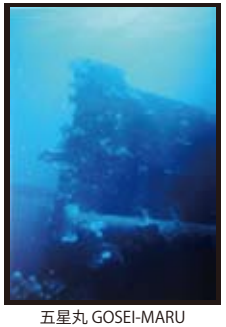
輸送船（日本海運）　5,141 トン パラオ港内、水深約 30 ㍍の海底

5

駆潜艇 29 号 別名「すすき丸」

駆潜艇（日本海軍）　420 トン トラック諸島・デュブロン島（夏島）の北西、水深 15 ㍍の海底

6



五星丸 GOSEI-MARU

輸送船（興運汽船）　1,931 トントラック諸島・マウン島（冬島）の北西、水深 3～40 ㍍の海底

7

神国丸 SHINKOKU-MARU

特設油槽艦（神戸桟橋汽船）　10,020 トン トラック諸島・パラム島（楓島）の北方、ウドット島（月曜島）北西の水深 3～40 ㍍の海底

8

神国丸 SHINKOKU-MARU

特設油槽艦（神戸桟橋汽船）　10,020 トン トラック諸島・パラム島（楓島）の北方、ウドット島（月曜島）北西の水深 3～40 ㍍の海底

9

第 2 日の丸 DAI2 HINO-MARU

特設海防艦（機雷敷設艦）（日本食塩回送）　997 トン トラック諸島・マウン島（冬島）の西方 140 ㌔、水深約 10 ㍍の海底

10

第 6 雲海丸 DAI6 UNKAI-MARU

輸送船（中村汽船）　3,220 トン トラック諸島・マウン島（冬島）の北側約 800 ㌔、水深 36 ㍍の海底

海底に眠る艦船　1

11

忠洋丸 CHUYO-MARU
輸送船（東洋汽船）　1,941 トン
パラオ港内、水深約 30 ㍍の海底

12

忠洋丸 CHUYO-MARU
輸送船（東洋汽船）　1,941 トン
パラオ港内、水深約 30 ㍍の海底

13

花川丸 HANAKAWA-MARU
航空燃料運搬船（川崎汽船）4,739 トン トラック諸島・トール島（水曜島）東方、水深 35 ㍍の海底

14

富士川丸 FUJIKAWA-MARU
武装輸送船（航空機専用輸送船）（東洋海運）6,938 トン　トラック諸島・エテン島（竹島）の岸近く、水深 6 ～ 35 ㍍の海底

15

平安丸　HEIAN-MARU
特設潜水母艦（日本郵船）　11,614 トン
トラック諸島・デュブロン島（夏島）の北西、水深 34 ㍍の砂地

16

平安丸 HEIAN-MARU
特設潜水母艦（日本郵船）　11,614 トン トラック諸島・デュブロン島（夏島）の北西、水深 34 ㍍の砂地

17

りおで志ゃねろ丸 RIO DE JANEIRO-MARU
特設潜水母艦（大阪商船）　9,627 トン トラック諸島・ウマン島（冬島）の東方約 400 ㌔、水深 36 ㍍の海底

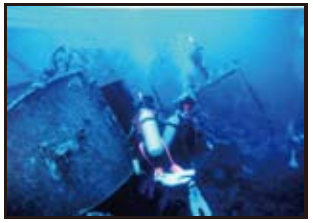
18

隆興丸 RYUKO-MARU
海軍徴用（大洋興業）2,764 トン パラオ港外

19

石廊 IRO
特務艦　14,050 トン パラオ湾内、水深 35 ㍍の海底

20



船名不詳
パプア・ニューギニアの海底

難民　1～22

1

世界各地の主要な難民・難民とは？

2

難民の実態
エチオピアの難民キャンプから帰って来た元スーダン難民。（1995 年 5 月）

3

難民の実態
ブルンジ北部にあるルワンダ難民キャンプ。（1995 年 5 月）

4

難民の実態
コンゴ民主共和国から新たに難民が逃れてきた。タンザニアにて。（1996 年 12 月）

5

難民の実態
大勢の難民がルワンダへ帰る途中、一時的に雨風をしのぐため、UNHCR からビニールシートが配給された。（1996 年 12 月）

6

難民の実態
タンザニアの難民キャンプから、帰国するルワンダ難民。（1996 年 12 月）

7

難民の実態
コンゴ民主共和国から帰国するルワンダ難民。（1997 年 4 月）

8

難民の実態
冬が近づくにつれ、避難民はおそるおそる自分たちの破壊されてしまった家に戻り始めた。一部屋は、落ちた屋根の残がい取り除いて使用できるようにしたが、この家族はいつでも逃げ出せるよう、野外で寝起きしている。コソボにて。（1998 年 10 月）

9

難民の実態
破壊されたモスク。1993 年 4 月に、100 人以上が殺された虐殺の舞台となった。（1999 年 2 月）

10

難民の実態
マケドニアとの国境をめざして線路の上を歩くコソボ避難民たち。国境付近は無人地帯だった。（1999 年 4 月）

難民

11

難民の実態

コソボから脱出する住民。そのほとんどは老人や女性、子どもだった。(1999 年 4 月)

12

難民の実態

1999 年、4 月中には毎日、何千もの難民がコソボとアルバニアとの国境の町にたどり着いた。難民の多くが避難してくる途中で、家を焼かれ、男が連れ去られるのを見ていた。(1999 年 4 月)

13

難民の実態

追い立てられ、着の身着のままトラックに乗ってマケドニアに逃げようとするコソボ住民。(1999 年 4 月)

14

難民の実態

マケドニアに設置された最初の大規模なコソボ難民受け入れセンター・UNHCR の支援を得て、NATO（北大西洋条約機構）によってつくられた。(1999 年 4 月)

15

難民の実態

コソボへの帰還民たち (1999 年 6 月)

16

難民の実態

コソボにて。帰還民たちが集団墓地から発掘された犠牲者の衣服で身元を確かめている。(1999 年 8 月)

17

UNHCR の支援

タンザニアにあるルワンダ難民のための診療所 (1995 年 5 月)

18

UNHCR の支援

難民キャンプでサンスクリット語の授業を受ける、ブータンからの難民の子どもたち。ネパールにて。(1993 年 7 月)

19

UNHCR の支援

1998（平成 10）年から始まったシエラレオネ反政府武装勢力による手足切断の残虐行為で、多くの一般市民が犠牲となった。これは、恐怖によって人々に忠誠を誓わせようという目的で行われた。ギニアの国立小児医療センターで手当を受ける犠牲者の一人。(1999 年 6 月)

20

UNHCR の支援

ルワンダ難民に配給される高タンパクビスケットの空輸。コンゴ民主共和国にて。(1997 年 2 月)

難民

21

UNHCR の支援

高カロリーのビスケットの配給のため、列をつくる帰郷途上のルワンダ難民。タンザニアにて。（1996 年 12 月）

22

UNHCR の支援

スリランカで UNHCR が設立した職業訓練所。帰還民たちは、雇用に有利になるよう、新しい技能を学ぶ。
コンピューターの授業などがある。（1995 年 5 月）

地雷　実物模型 1 ～ 11　写真パネル 12 ～ 17

模 -1

対戦車地雷

戦車や車がのると爆発。この対戦車地雷が取られないように、対人地雷を開発した。現在でも使われている。

模 -2

PMN 爆破型地雷

体重 20kg 以上の人が踏むと爆発。1960 年代に開発され、世界で最もよく使われている対人地雷の一つ。

模 -3

PMN-2 爆破型地雷

体重 20kg. 以上の人が踏むと爆発する、世界でもっとも多い地雷 PMN の改良型。防水性能を高め、耐久性を向上させた。

模 -4

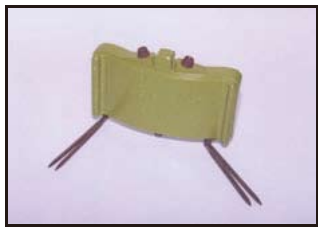
OZM-4(M16) 跳ね上げ型地雷

最初の爆発で地雷の中身が跳ね上がり、地上 1 メートルで 2 度目の爆発。このとき鉄片が四方に高速で飛び散り人の胴体や内臓、頭部を襲う。

模 -5

OZM-4(M16)　跳ね上げ型地雷

模 -6



M18A1 指向性破砕型地雷

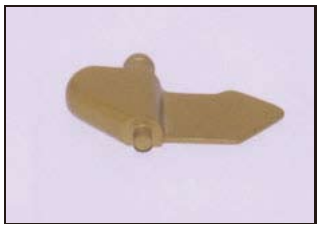
先端から草木に渡したひもに足がかかると爆発。中に入っている小さい鉄球や鉄片が前方 50 メートルに放射される。

模 -7

MD82B 爆破型地雷

300 種類以上ある地雷の中で最も小さいもので、非常に見つけにくい。アメリカ製でヴェトナムなどアジアにたくさん埋まっている。

模 -8



PMF-1 散布型地雷

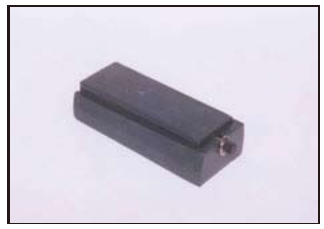
別名パタフライ地雷。チョウチョの形の柔らかなポリエステル製で、中に液体爆薬が入っている。ヘリコプターからまかれ、子どもが大勢この地雷の犠牲になっている。

模 -9

タイプ 72　爆破型地雷

全体の 98%がプラスティックのため金属探知機では探知しがたい。中国製で、1 個 300 円ほどでできる。

模 -10



PMD-6　木製箱入り地雷

木製なので金属探知機では見つけることが難しい。ひもが引かれると信管が作動し爆発する。

地雷

模 -11

POMZ-2 破砕型地雷 上部のヒューズと草木に結んだひもに足がかかると爆発。殺傷力が強い。

12

地雷除去にたずさわる作業員

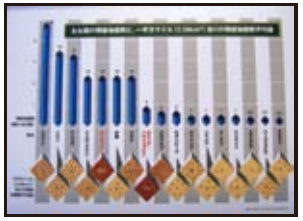
13

回収された地雷

14

地雷埋設国

15



主な国の残留地雷数と、一平方マイル（2.56 ㎢）当りの残留地雷（数平均値）

16

「対人地雷廃絶は入口にたどりついたばかり」・「第 2 の対人地雷」「クラスター爆弾」

17

「対人地雷全面禁止にむけての運動」・「オタワ条約」

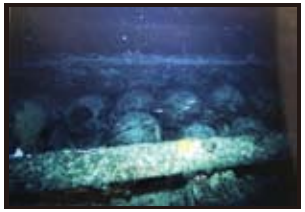
海底に眠る艦船　2　1～20

1

桑港丸 SANFURANSHISUKO-MARU

船首の対空砲 特設武装輸送艦（山下汽船）
5,831 トン　トラック諸島付近にて、空爆により沈没

2



桑港丸 SANFURANSHISUKO-MARU

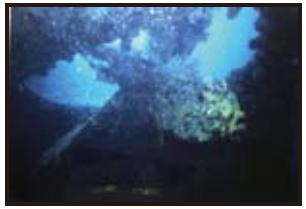
積み荷の機雷 特設武装輸送艦（山下汽船）
5,831 トン　トラック諸島付近にて、空爆により沈没

3

桑港丸 SANFURANSHISUKO-MARU

積み荷の車輌　特設武装輸送艦（山下汽船）
5,831 トン　トラック諸島付近にて、空爆により沈没

4



五星丸 GOSEI-MARU

スクリュー海軍徴用輸送船（興運汽船）1,931 トン
トラック諸島・ウマン島（冬島）の北西、水深 30 ～ 40m の海底

5

山鬼山丸 SANKISAN-MARU

船倉に残る積み荷の銃弾　海軍徴用輸送船（鏑木汽船）　4,776 トン トラック諸島付近にて、空爆により沈没

6

第 2 日の丸 DAI2-HINOMARU
船首 特設海防艦（日本食塩回送）997 トン
トラック諸島・ウマン島（冬島）の西方 140m、水深約 10m の海底

7

海軍一式陸上攻撃機
胴体内部 双発エンジンの大型機
トラック諸島・エテン島（竹島）付近

8

海軍一式陸上攻撃機
コックピットから後部を見る　双発エンジンの大型機
トラック諸島・エテン島（竹島）付近

9

陸軍一式戦闘機　隼（はやぶさ）
ひっくり返っている姿 陸軍の主力戦闘機
トラック諸島・デュブロン島（夏島）付近

10

愛国丸 AIKOKU-MARU
船倉に下りる梯子　特設巡洋艦（大阪商船）
10,437 トン　トラック諸島・デュブロン島（夏島）の東方、水深 70m の海底

海底に眠る艦船　2

11

神国丸 SHINKOKU-MARU

船内の食器類 特設油槽艦（神戸桟橋汽船）
10,020 トン トラック諸島・パラム島（楓島）
の北方、ウドット島（月曜島）北西の水深 30
～ 40m の海底

12

イタリー丸 ITARII-MARU

爆撃による穴 陸軍徴用船（玉井商船） 5,859 トン
ラバウル、シンプソン湾にて、空爆により沈没

13

石廊 IRO

特殊なマスト 特務艦　14,050 トン パラオ港内、
水深 35m の海底

14

石廊 IRO

機関室付近 特務艦　14,050 トン パラオ港内、
水深 35m の海底

15

那岐山丸 NAGISAN-MARU

爆撃された船倉 海軍徴用輸送船（三井船舶）
4,391 トン　パラオ港内にて、空爆により沈没

16

忠洋丸 CHUYO-MARU

サンゴに覆われる船体の穴 陸軍徴用輸送船
（東洋汽船） 1,941 トン　パラオ港内、
水深約 30m の海底

17

忠洋丸 CHUYO-MARU

船内の人骨 陸軍徴用輸送船（東洋汽船）
1,941 トン　パラオ港内、水深約 30 ㍍の海底

18

あさしほ丸 ASASHIHO-MARU

横転している船の中心部 海軍徴用輸送船
（日本海運）5,141 トン　パラオ港内、
水深約 30 ㍍の海底

19

隆興丸 RYUKO-MARU

船倉内部 海軍徴用輸送船（大洋興業）2,764 トン
パラオ港外にて、空爆により沈没

20

てしお丸 TESHIO-MARU

爆発でめくれた船腹 陸軍徴用輸送船（三井船舶）
2,840 トン　パラオ港外にて、空爆により沈没